



顧客のニーズに100%応える 姿勢を貫いて、信頼を重ね事業を拡大。

ランクアップ株式会社は埼玉県久喜市に本社を構え、食品をはじめ化粧品や雑貨といった一般貨物全般を扱うことに加え、大手流通企業によるインターネット通販の商品輸送も手がけている。

県内の上尾、鶴ヶ島の両市に営業所を置き、関東一円を輸送エリアとして事業を展開。また、鶴ヶ島営業所は流通加工センターを備え、倉庫内では商品の保管や梱包、パッケージングの業務も行うなど事業領域を拡大。顧客の要望を“快く”引き受けることを信念とし、事業の裾野を広げている。



“うれしいこと”を お客様の立場で考えて実践

安全・確実な作業のために 『二度挿し』を徹底

車両をていねいに扱うことは荷役作業にも反映されている。同社ではフォークリフトでの作業時、急ハンドル・急ブレーキ操作の禁止に加え、『二度挿し』を徹底している。これはパレットを積み降ろす際、フォークをパレットの奥まで一気に挿し込むのではなく、一旦真ん中あたりで止めてパレットを引っ張り、もう一度差し直してパレットを積み降ろすという方法。こうすることで、トラックのアオリを傷つける心配なく作業が可能になる。「以前、当社の車両が納品先で雑なフォークリフト操作によって傷つけられたことがあって、自分たちが嫌だと感じたことは、協会会社さんにはしたくありません」と坂本社長。自社のスタッフだけでなく、倉庫へ納品に訪れるドライバーも安心して作業ができる環境づくりに力を入れている。



ポスターに描かれたマークは“羽ばたき”を表現したもので、さらなる高みを目指すという坂本社長の意思が表れている。

スマートフォンを活用して 業務を効率化

事業が発展する中で業務の効率化が求められるが、対策の一環として同社ではスマートフォンを活用。急な荷物の配送に際して、荷主企業からの送り状を臨機応変にドライバーのスマートフォンへ送信。送り状をその都度、会社まで取りに戻る手間を省略してドライバーの運転の負担を減らすとともに、燃料コストの低減にも効果を発揮している。



メリットが大きいスマートフォンの活用。

このように、相手の気持ちを常に思いやることは、同社の経営理念のひとつである“奉仕”の考えのもとに行っているという。「“奉仕”とはちょっとした心遣いのことです。例えば業務以外で“ちょっと荷物を運ぶのを手伝って”と言われた時の対応。これは無償の行為ですが、率先して行う気持ちを持っていれば、必ず後でプラスになるのです」。誠意ある仕事ぶりが荷主企業からの評判となり、新たな依頼につながっている。



倉庫内では安全第一の運転と効率的な作業が求められる。

人と人とのつながりが成長の原動力

逆境をバネに 一丸となり成長

ランクアップ株式会社の設立は2013年で、まだ若い運送会社といえる。設立経緯は坂本久義 代表取締役が当時勤務していた運送会社の経営が立ち行かなくなってしまう、“荷主企業と従業員のために何とかしなくては”との想いから予期せぬ形で立ち上げるようになった。

残ったドライバー3名と十分な準備期間もなくスタートしたが、前の会社の取引先が坂本社長を信頼して引き続き業務を発注。その期待に応えるため、

どのような仕事にもお客様を第一に考え取り組んだ結果、順調に業績を伸ばしている。この体験から信頼を積み重ねていくことの大切さを実感した坂本社長は、“信頼・信用”を新会社の経営理念のひとつに定めた。そして社名である『ランクアップ』は会社設立時、“どん底からはい上がる”決意と、会社に関わる誰もが“向上していただきたい”との想いから命名したという。

ドライバー出身の坂本社長は自身の経験から“車をきれいにしている人は、仕事もできる”という考えの持ち主。「ドライバーはピカピカな車で町を走ると誇らしい気持ちになって、仕事への



雨上がりには特に念入りに洗車を行う。

意欲も高まり良い仕事をしてくれます。それはお客様にとってもうれしいことですよね」と坂本社長。車のすみずみまで手洗いすることで、オイル漏れやタイヤの空気圧の異常などを早期発見でき、車両トラブルを防止。ドライバーの安全を守るとともに、修理コストの低減にもつながっている。



「会社が成長していくために大切なのは、お客様とドライバーが信頼しあえる関係を築くことです」と、成長の秘訣を語る坂本社長。

ランクアップ株式会社

住所：埼玉県久喜市菖蒲町三箇6204-7

TEL：0480-31-8851

代表者：代表取締役 坂本久義

設立：2013(平成25)年11月

従業員数：21名 保有台数：18台

http://rankup.win/